

1982年3月には、小浜島の未調査の地域で調査を実施する予定である。

8. カタメンキリンサイの移植実験

1981年7月9日に昨年同様鳩間島と西表島の間リーフ上にある群落からカタメンキリンサイを採取し、川平湾湾口部のリーフ上に移植して、その後の経過を観察した。

生息状況調査等の結果から、カタメンキリンサイは孢子による増殖は少なく、波浪その他でちぎれた小片がサンゴ礁の所々にみられる小さな窪みなどに落ち、そのうちのいくつかが定着、生長して徐々に生育場所を拡大していくと考えられる。

昨年度は、効果判定を容易にするため比較的狭い地域に高密度に撒布する方法をとったが、上記の観察から広範囲に撒布した方が定着の効率が良いと考えられるため、今年度は実験区域を広く設定し、昨年よりもリーフ寄りの浅部に分散させる方法をとった。

量的な評価はできないが、1月現在かなり定着がみられており、結果は良好である。

9. 底質の粒度組成及び底生生物調査

1979年から浅部と水路部を交互に調査しているが、今年度は浅部で底質の粒度組成及び底生生物の調査を行なった。採集地点は図5に示した7点(st.I～st.VII)である。

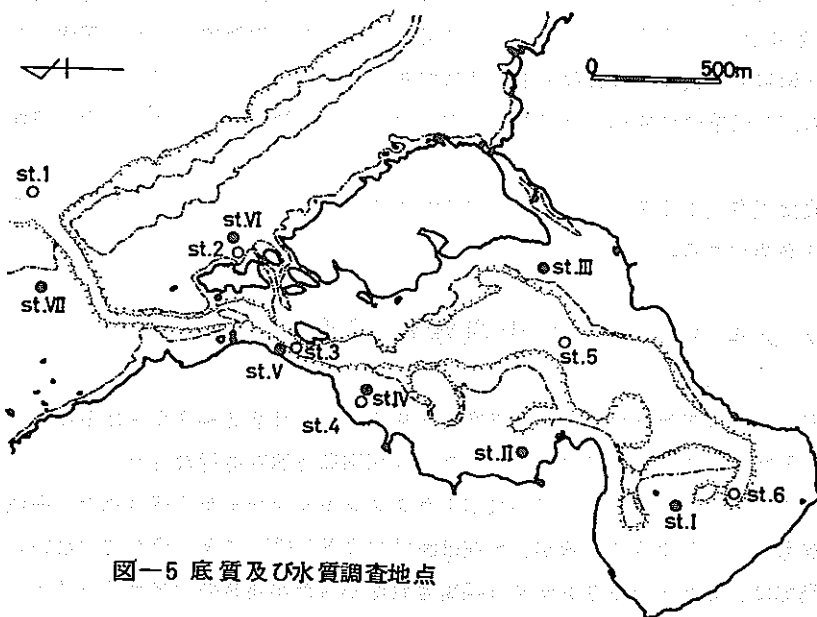


図-5 底質及び水質調査地点